山口県立○○学校

(例)PTA

ＰＴＡ会長　○○　○○　様

**｢ゆきとどいた教育を求める全国署名｣(教育全国署名)へのご協力のお願い**

平素から本校教育の充実のためにお力添えをいただき、ありがとうございます。

私たちは、「小・中・高校の少人数学級実現、教育費の保護者負担軽減、障害児教育の充実、私学助成の大幅増」などをスローガンに、「ゆきとどいた教育を求める全国署名（教育全国署名）運動に３５年間とりくんできました。これまでで４億８千万筆を超える数の署名を集め、父母・保護者、子ども、教職員、国民の願いを国や地方自治体に届けてきました。長年のとりくみによって、義務標準法が改正され、小学校全学年での３５人学級が前進し、「高等学校等就学支援金制度」の私学への拡充が実現しました。

高校など県立学校では、特別教室への空調設置整備、洋式トイレの設置、総合支援学校では医療的ケアの拡充として宿泊を伴う校外学習への看護師の同行が可能になるなど、教育条件が前進してきました。

これらはひとえに「子どもたちに少しでも良い教育を」と、この署名運動に参加してくださった方々の熱意のたまものであり、あらためて厚くお礼申しあげます。また、この署名運動が、教職員と父母・国民が手を結び、信頼関係のもとに子どもの成長を支え、教育を国民の手でつくっていく運動として発展してきたことに確信を強めています。

一方、日本の「公財政教育支出の対GDP比（2020年）」は2.98%とOECD諸国の中で最低です。これをOECD諸国平均4.28%まで引き上げれば、小・中学校、高校までさらなる少人数学級の前進、公立・私学ともに就学前から大学まで教育無償化など、ゆきとどいた教育を保障する教育条件整備をすすめることが可能となります。

憲法と、批准30年を迎えた子どもの権利条約が生きて、輝く学校づくりをすすめるために、国の責任ですべての子どもにゆきとどいた教育を実現する教育条件整備が行われるよう11月集約にむけて「教育全国署名」にとりくみます。つきましては、次のことについて心からお願いするものです。

１．「ゆきとどいた教育を求める署名」（教育全国署名）について、ＰＴＡ活動の一つとして位置づけていただくこと。

2024年（令和６年）　 月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 山口県立○○学校

　　　　 　 　　　教職員代表　○　○　○　○